

DEEP SHAFT

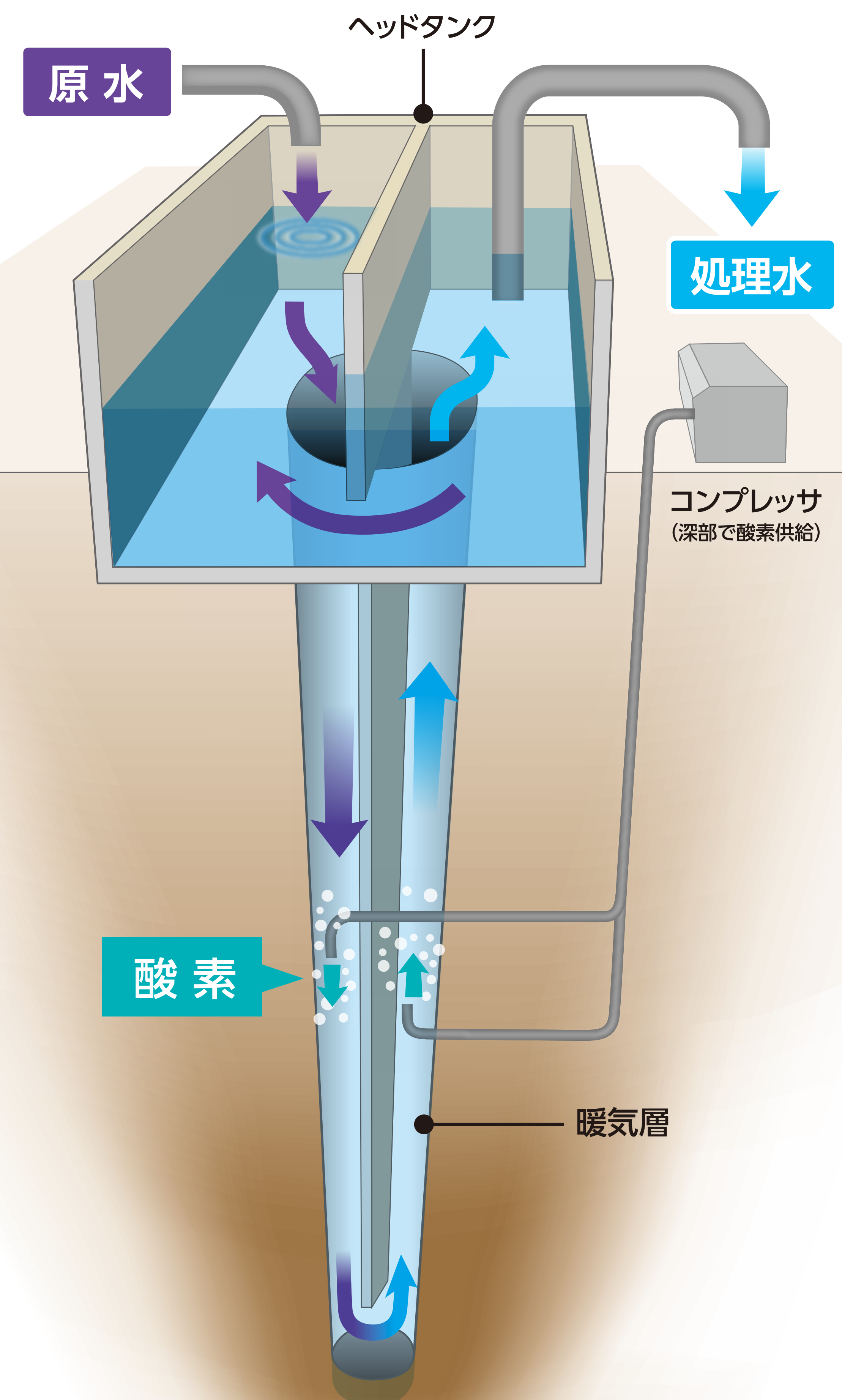
高濃度有機排水の処理技術 ディープシャフト

超深層曝気法を用いて高濃度有機排水を処理

超深層曝気法は深さ40m以上のシャフトを利用した曝気槽で有機物を分解する方法です。BODの分解能力の指標であるBOD容積負荷が一般的に用いられているエアレーション法の数倍もあります。

ディープシャフトの特長

- 高水圧下で曝気するため溶存酸素濃度が高く、**有機物の分解速度が速い**
- 曝気槽が地中深部にあるため、処理水温が高く、**寒冷地でも安定した処理が可能**
- 処理施設の所要面積が小さく**省スペース化が可能**
- 曝気装置が小型で**ランニングコストが安価**



北海道のでん粉工場排水処理へ適用

でん粉製造時に発生する有機排水の**悪臭を除去**して国内で初めて**液肥化**を実現
その他畜産排水への適用実績もあります。

- 排水の処理能力：150m³/日(30,000m³/年)
- 排水のBOD：10,000mg/L
- 曝気槽容量：510m³

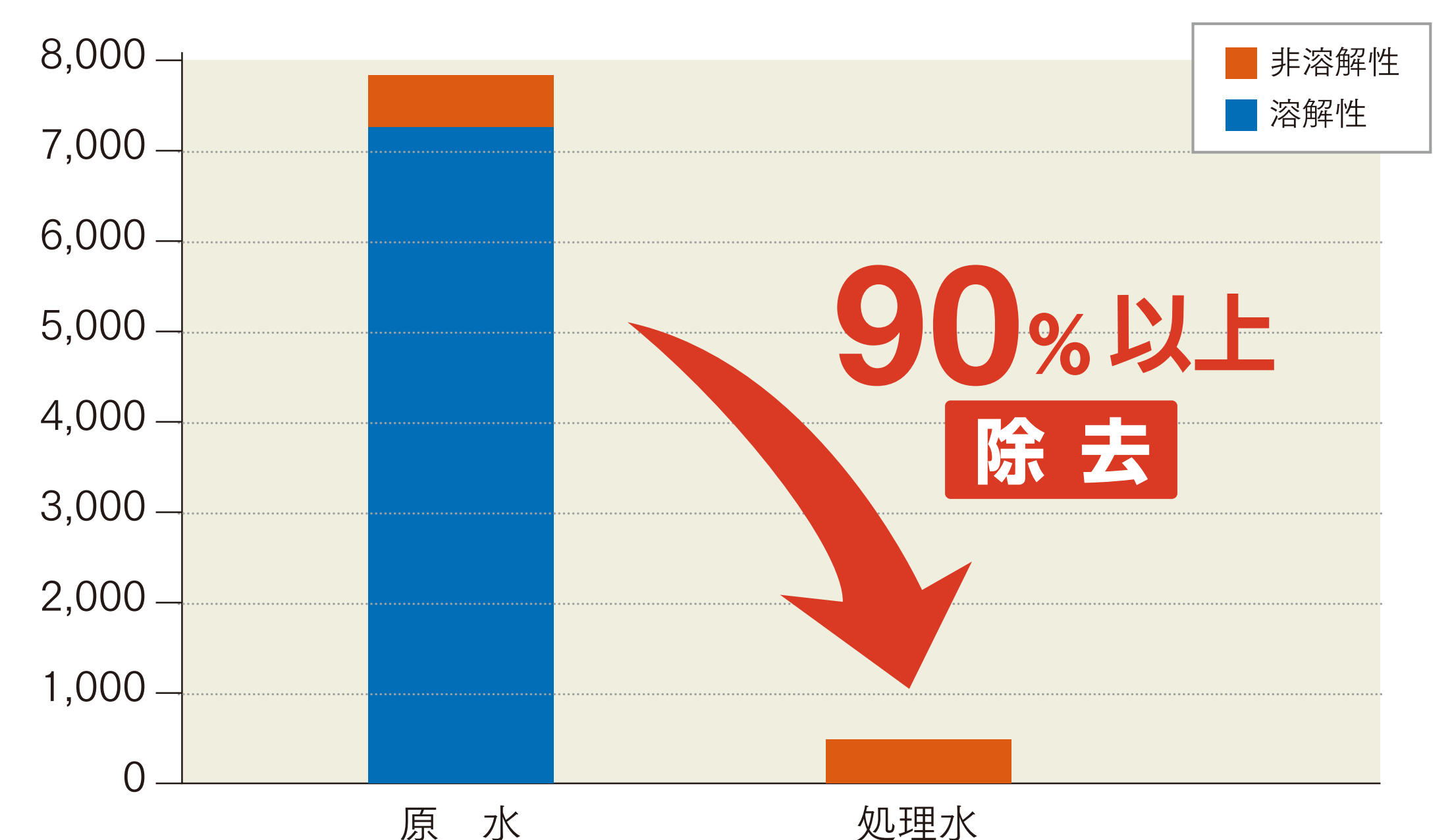


中央制御室と4か所の曝気槽



肥料散布

■ BODの処理



■ 悪臭の原因物質

